

「可能性が広がった」

奈良市西大寺東町の第一学院高校奈良キャンパス（伊東琢磨キャンパス長）は13日、奈良市学園南の学園前ホールで卒業証書授与式を行い、卒業生43人を保護者と在校生、教員ら約60人が見送った。卒業生は担任からの温かい言葉とともに、伊東キャンパス長から一人一人に卒業証書を授与、卒業生はマイクを持ち、両親や教員、後輩らへ感謝の気持ちを伝えた。

伊東キャンパス長（右）から卒業証書を授与される卒業生
13日、奈良市学園南の学園前ホール



43人が巣立つ

第一学院高校
奈良キャンパス

式辞。卒業生代表の答辞では、竹下直輝さんが日々の学校の思い出を振り返り「第一学院に転校するまでは人間関係などで悩みつらい日々を過ごしたが先生や先輩達が優しく迎えてくれた。ボランティア活動などで自分らしさを取り戻すことができ、卒業と進学ができたのは先生たちや両親のおかげ。在校生の皆は自分の可能性を広げるために多くのことに挑戦してほしい」と述べた。

最後に卒業生たちがレミオロメンの「3月9日」を合唱、涙をこらえながら懸命に歌う卒業生の姿に、会場は大きな拍手に包まれた。